

こうのとり通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会

第15号(27) 2020年8月31日発行
(発行部数 400部)

発行責任者 國廣 晴美
編集責任者 奥 陽子



〒650-0011
神戸市中央区下山手通5丁目8-14
山手グレイハイツ305号

TEL: 078-362-1310(月～金) 10:00～16:00

FAX: 078-362-2737(24時間)

Email: info@hyogo-josanshikai.com

HP: http://hyogo-josanshikai.com/

ごあいさつ



会長 國廣 晴美

残暑の候 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、令和2年度定時社員総会及び理事会での承認を経て、会長に就任いたしました。会員の皆様とともに母子保健の推進ならびに助産師会の発展に努力する所存でございます。どうぞよろしく願いいたします。

岸本前会長におかれましては三期六年間、会の運営に多大なご尽力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

コロナウイルス感染拡大は、すべての人の生活様式が大きく変化し、現在も不安と緊張が続いています。そのような中、医療機関や地域での母子及びご家族の支援を継続され、尽力されている会員の皆様に敬意を表します。

当会では緊急事態宣言以降、兵庫県助産師会一斉メールを用い、できるだけ早い情報の共有をしてきました。また、今年度は感染防止対策の新しい取り組みとして、研修会や会議についてインターネットを用いたオンラインでの開催を勧めています。

昨年は産後ケア事業が法制化、さらには成育基本法が施行され、すべての子どもが健やかに育つための妊娠中からの切れ目のない具体的な支援施策が今後本格化します。新しい法に則り、関係機関と連携しながら、新しい生活様式の中で女性と子どもとご家族に寄り添い支援する助産師の力を発揮できるように、会員の皆様とともに尽力してまいります。会員の皆様には、ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。

理事
総毛 薫

理事
西村 明子

理事
郷原 寛子

理事
谷川 裕子

理事
高田 昌代

理事
嶋澤 恭子

会長
國廣 晴美

理事
藤井 ひろみ

理事
毛利 多恵子

監事
岸本 喜代子

庶務幹事
金川 景子

オンライン理事会 (第2回理事会 2020.8.5)

新役員の紹介

① 所属 ② 座右の銘 ③ 抱負

國廣 晴美 (会長)

- ① くにひろ助産所
- ② みんな違ってみんないい
- ③ 今そしてこれからの時代を見据え、助産師が女性と子ども家族に寄り添いより良いケアを届けるために、助産師職能団体としてできることを会員の皆様とともに取り組んでいきたいと思っています。

嶋澤 恭子 (副会長)

- ① 神戸市看護大学
- ② 未来とは今である
- ③ 会計と選挙管理委員会の担当理事です。新入会員、研修参加の増加と本会の活動もますます活発化しております。未曾有の災害といっても過言ではないCOVID-19の影響で、妊娠もお産も子育てもますます孤立化しているというニュースが聞こえてきます。この状況下で助産師だからこそできる顔の見える支援を会員の皆様と学びあい、実践できたと思います。本会の活動も今まで通りとはいきませんが、オンラインでの企画が着々と進行中です。さらなる活動の充実に向けて頑張りたいと思いますのでご協力のほどよろしくお祈りします。

高田 昌代 (理事)

- ① 神戸市看護大学
- ② 一期一会
- ③ 今期は理事として、安全対策委員会、医療事故調査支援委員会、災害対策委員会、勤務助産師部会を担当いたします。助産師会内外の安全関係が担当です。助産師の役割が地域に目が向けられて大いに追い風です。助産師のケアが安全で安心したケアであることを女性やその家族、そして社会が認識できるよう職能団体として努力したいと思っています。

西村 明子 (理事)

- ① 兵庫医療大学
- ② 意志あるところに道は開ける
- ③ 庶務と広報担当理事です。兵庫県助産師会には子育て・女性健康支援センターと13の委員会があり、各専門部会のメンバーが協力して活発に活動が行われています。今年はCOVID-19の影響で一同に会する機会が激減しますが、オンラインの利用など新しい方法で、活動をより充実させるべく、庶務、広報担当理事として努力してまいります。よろしくお祈りいたします。

毛利 多恵子 (理事)

- ① 毛利助産所
- ② 今の積み重ねが未来
- ③ 理事および助産所部会長を兼務いたします。理事として、一般社団法人兵庫県助産師会立助産所開設準備委員会、表彰委員会を担当します。助産所分娩数は年々減少し、産後ケア事業が増加傾向にあります。やはり妊娠から出産までの継続ケアを確立することが大事だと産後ケア事業を実施して感じております。助産師がローリスクもハイリスクも寄り添い続けられるケア体制、助産師として長い人生働き続けられる助産所のあり方など、次の時代に向けて何をすべきなのか皆さんと検討していければと思います。

郷原 寛子 (理事)

- ① 毛利助産所・いろり助産院 地域助産活動
- ② 一期一会
- ③ 子育て・女性健康支援センター、保健指導部会及び兵庫県助産師会立助産所開設準備委員会担当理事、日本助産師会近畿地区理事です。2020年3月末に教育機関を退職し、4月から地域助産師として仕事をしています。産後ケアを中心に日々新しい発見や難しさを実感しながら、知力・体力を調整し、地域で生活する女性やママ達に安心を届けられるように、一緒に考えていきたいと思っています。

総毛 薫 (理事)

- ① 医療法人三友会なでしこレディースホスピタル
- ② どの道も歩いてみれば花盛り
- ③ 理事として、表彰委員会、産前産後継続ケア推進委員会、一般社団法人兵庫県助産師会立助産所開設委員会を担当しています。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない質の高い寄り添いケアが求められています。そのための仕組み作りや学びの提供をみなさんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

谷川 裕子 (副会長)

- ① たけの子助産院
- ② ポレポレ
- ③ 理事2期目として今期も教育委員会を担当させていただきます。アドバンス助産師とともに、産後ケア実務助産師研修も始まりました。さまざまな背景をもつ女性と子ども、そして家族に対して、助産師がより質の高いケアを提供できるように、また、助産師自身が楽しく学べるような魅力的な研修を、委員と共に企画したいと思っています。皆様、ぜひ研修のアイデアをお寄せください。

藤井 ひろみ (理事)

- ① 大手前大学
- ② 千里の道も一歩から
- ③ 組織強化(地区助産師会等連絡会議含む)と福祉厚生担当理事です。兵庫県助産師会は2年後に90周年、そして次の子年には100周年です。生きやすい、産み育ちやすい社会作りに貢献できる組織強化と、助産師会員で良かったと思える福祉厚生ができるよう、基盤強化を目指します。ここ数年で足に障がいを得ましたが、従来から歩くのが好きで、まさに座右の銘の通りの毎日です。

岸本 喜代子 (監事)

- ① いろり助産院
- ② 誠実、熟成
- ③ 会長の任期を終え監事としての再出発となります。経験だけに頼ることなく、人法・定款・各種規程に照らし合わせながら、理事の職務の執行と会計運営が正しく行われているか、職務を遂行したいと考えています。私生活では「いろり助産院」を開業しました。管理栄養士の夫が料理を担当します。今まではすれ違いだからこそこの円満夫婦でしたが、これからは二人三脚で地域の人々と共に自然一杯の生活を満喫しながら、誠実に一人一人を大切に母子支援を行うことを目標に励みます。

教育委員だより

2020年度助産師のちからアップ研修はオンライン研修に決定！



← 研修会の申し込みはこちらから

教育委員長 吉川 恵理

今年度の「助産師のちからアップ研修」は、全てオンライン研修として開催することに決定しました。当初は従来通りの研修計画を立てていましたが、昨年度末からの新型コロナウイルス感染拡大、それに伴う様々な規制、このままでは今年度の研修は開催できない、と一時は研修中止も頭をよぎりました。しかし今、全国的に助産師の研修が少ないこと、こんな時だからこそ現場の助産師が元気になれるような研修が開催できないか、そして皆様が安心して参加できる研修のあり方は、と議論に議論を重ねた結果、オンラインでの開催に踏み切りました。

兵庫県助産師会としてもオンライン研修は初めてのことで、まずはシステムについて知る所から、業者さんと何度も打ち合わせを重ねています。とはいえ、一から作り上げるという作業は非常に難しく、業者さんの言っていることを理解するのにまず一苦労…という状況です。しかし、新しいことに挑戦する楽しさもあり、研修を皆様にお届けしたいという熱意を持って教育委員一丸となって頑張っています。もちろん、教育委員会だけでなく他の委員会や部会の皆様にもご協力いただき、今年中の配信開始を目標に準備を進めています。例年通り、兵庫県助産師会らしい魅力溢れる研修を配信する予定です。オンラインで相互に交流できるような企画も検討中です。研修の詳細が決まり次第、本会のHPにてお知らせいたします。楽しみにお待ちください！

トピックス

丹波篠山市 My助産師による産前産後の継続ケア

丹波篠山市 成瀬 郁

丹波篠山市は人口4万2千人、年間出生数約260人の地方都市です。全国的な産科医不足の影響で、当市においても今年3月で総合病院が分娩休止となり、出産できる施設は産婦人科診療所(市民の分娩40%)1か所となりました。

昨年、総合病院が分娩休止の意向を表明したと同時に市長の呼びかけで「産科充実に向けての検討会」が発足。医師会・子育て中の女性を含めた市民代表・助産師等が検討を重ねてきました。市立の助産所設立も検討されましたが囑託を受けて下さる医療機関がなく断念。しかし市民の女性が安心して妊娠出産子育てができる支援を！とたどり着いたのが「My助産師による産前産後の継続ケア」です。市の助産師3名で全妊婦を担当し、健康的な妊娠出産と子育てを支援します(①母子手帳交付時②妊娠中期③妊娠後期④産後の赤ちゃん訪問計4回+随時相談)。助産師による継続ケアのエビデンスは研究で確認され、WHOも新ガイドラインで推奨しています。一方、ケアの受け手の女性自身が、病院の健診以外に産前ケアを受ける必要性を感じていない現実など課題もあります。しかし、分娩場所の集約化の中、女性が生活し子育てしていく地域において助産師が継続して寄り添う支援は、産後うつ・虐待防止の観点からも重要だと思います。今年8月開始の当市のMy助産師制度の取り組みは、助産師が地域で活躍する新しい働き方モデルにもなるかと思っています。

様 妊娠おめでとうございます

妊娠・出産は「生理現象」です

赤ちゃんは、
女性には「新しい命を産み育てる力」が
赤ちゃんには「生まれる力」が、本来 備わっています
その力を発揮して、あなたらしいお産 楽しい子育てをしましょう

My助産師は、あなたとご家族に寄り添い
妊娠・出産・子育ての道のりを 共に歩みます

＜新しい命を迎える 大切な3つの準備＞

- ①心の準備
お腹の中の赤ちゃんの人生は、もうスタートしていますよ
パパママも「親になる覚悟」ができていますか？
- ②身体の準備
安産に向けて生活や習慣を見直してみましょう
- ③産後の生活にむけた準備
赤ちゃんとの生活をイメージして、家族みんなで準備していきましょう

あなたのMy助産師 _____ です
地区担当保健師 _____ です

赤ちゃんは、
ママは、
パパは、
みんな、
一緒に、
準備していきましょう



新入会員の紹介

2020/3/1～7/31

敬称略

	保健指導部会	勤務助産師部会	賛助会員（助産師学生）
新入会員	森岡 亜希子 宮崎 裕美 藤岡 七海 田中 正美	黒堀 衿奈 比名 朋子 尾形 優妃	中橋 一美 土田 純子 加須屋 有紀
		早川 ひと美 山本 真理 西村 晴美	東 郁子 小塩 史子
転入		蚊口 理恵 細谷 千晶 山田 幸子	吉田 実央
			総合衛生学院 助産学科 4名  ←入会の申し込みはこちらから
			7/31 現在の会員数 348名

役割一覧

50 音順 敬称略

(理事会)

代表理事 定款規程検討委員会担当理事 一社）兵庫県助産師会立助産所開設準備委員会担当理事	國廣晴美
副会長 教育委員会担当理事 近畿地区研修会企画委員会担当理事	谷川裕子
副会長 会計担当理事 選挙管理委員会担当理事	嶋澤恭子
庶務担当理事 広報委員会担当理事	西村明子
子育て・女性健康支援センター運営委員会担当理事 保健指導部会担当理事	郷原寛子
産前産後継続ケア推進委員会担当理事 表彰委員会担当理事	総毛薫
安全対策委員会担当理事 医療事故調査制度支援委員会担当理事 災害対策委員会担当理事 勤務助産師部会担当理事	高田昌代
福祉厚生委員会担当理事 市町・地区助産師会等連絡会担当理事 組織強化委員会担当理事	藤井ひろみ
助産部会担当理事	毛利多恵子
会計幹事	山名華代（勤）
庶務幹事	金川景子（勤）

(監事)

監事	岸本喜代子
----	-------

(専門部会)

助産部会 担当理事 毛利多恵子	◎毛利多恵子 島崎明代（副） 加須屋淳江（書記） 秋山敦子（会計）
保健指導部会 担当理事 郷原寛子	◎坂田富貴子 藤尾さおり（副） 森田輝（書記） 小山千里（会計）
勤務助産師部会 担当理事 高田昌代	◎寺嶋智穂 阿部久美子（会計） 打越リカ 太田加代 西村明子

(子育て・女性健康支援センター)

子育て・女性健康支援センター運営委員会 7名以上 （助から1名以上、保・勤から各2名以上） 担当理事 郷原寛子	◎竹中靖子（勤） 岡崎智津美（保） 小山千里（保） 鹿谷真純（勤） 仁木奈織子（保） 緩詰由紀子（勤） 吉澤江美（保）
---	---

編集後記

新役員就任の年。ですが広報委員の顔ぶれは変わらず。委員会の状況をよく知るメンバーで、今年もよりよい広報活動が行えるよう取り組んでまいりたいと思います。

広報委員：奥・上月・佐治・徳重・松岡 担当理事：西村

(常設委員会)

教育委員会 12名（各部会から1名以上） 担当理事 谷川裕子	◎吉川恵理（勤） 有本梨花（勤） 佐々木かおり（保） 田村明音（助） 廣谷薫（保） 野原留美（勤） 宮村昌子（勤） 和田望帆（助）
安全対策委員会 6名以上（各部会から1名） 担当理事 高田昌代	◎森田輝（保） 井澤典子（勤） 打越リカ（勤） 高橋八重子（助） 田中美紗（勤） 鳴坂広美（保） 四ツ谷友紀子（助）
広報委員会 5名（各部会から1名） 担当理事 西村明子	◎奥陽子（勤） 上月晶葉（勤） 佐治賢久美（保） 徳重朋子（助） 松岡倫子（保）
福祉厚生委員会 3名（各部会から1名以上） 担当理事 藤井ひろみ	森下京子（助） 蚊口理恵（勤） 長井順子（保）
災害対策委員会 4名以上（各部会から1名以上） 担当理事 高田昌代	◎細川由美子（勤） 阿部久美子（勤） 太田加代（勤） 岡垣裕美（保） 金川景子（勤） 塩田まゆみ（助） 山野英里（保）

(特別委員会)

表彰委員会 3名（理事から3名） 担当理事 総毛薫	◎総毛薫（勤） 郷原寛子（保） 毛利多恵子（助）
組織強化委員会（理事全員） 担当理事 藤井ひろみ	理事
産前産後継続ケア推進委員会 4名以上 （各部会から1名） 担当理事 総毛薫	◎中野純子（保） 道満りつ子（勤） 徳重朋子（助） 早川ひとみ（勤） 宮田和美（保）
選挙管理委員会 6名以内（各部会から2名） 担当理事 嶋澤恭子	金子哉子（勤） 川内恵美子（勤） 高橋八重子（助） 渡海雅子（保） 徳重朋子（助） 渡邊和枝（助）
定款規定検討委員会（理事全員） 担当理事 國廣晴美	理事
医療事故調査制度支援委員会 4名 （各部会から1名、安全対策委員から1名） 担当理事 高田昌代	◎廣川卷子（保） 石田弘美（助） 田中美紗（勤） 松田幸代（助）
一社）兵庫県助産師会立助産所開設準備委員会 担当理事 國廣晴美	◎毛利多恵子 井上千秋（保） 郷原寛子（保） 島崎明代（助） 嶋澤恭子（勤） 総毛薫（勤）
近畿地区研修会企画委員会 担当理事 谷川裕子	◎谷川裕子（保） 國廣晴美（保） 嶋澤恭子（勤） 藤井ひろみ（勤）

◎印：専門部会長、委員長